

# アライグマの被害防止

入れない・捨てない・拡げない



ペットとして日本に持ち込まれたアライグマ。今では、野生化したものが増加し、分布を拡大しています。それにともない、農作物被害や生態系への脅威を引き起こしているため、被害防止や捕獲など、早急な対応が必要となっています。



## 生態と分布

### 生息環境

平地から山地まで幅広く生息可能で、空家や倉庫、神社などで繁殖した例もあります。また、水辺環境も好みます。

### 食性

農作物からカエルや魚、水生昆虫など何でも食べる雑食性。

### 繁殖

メスは1歳で出産します。年1回、3～6頭（平均4頭）の子を産みます。

### 特徴

するどい爪やきばを持ち、個体によっては気性が荒く、引っかいたり噛みつくこともあります。活動は主に夜ですが、条件がよければ、昼にも活動することができます。

### 原産地

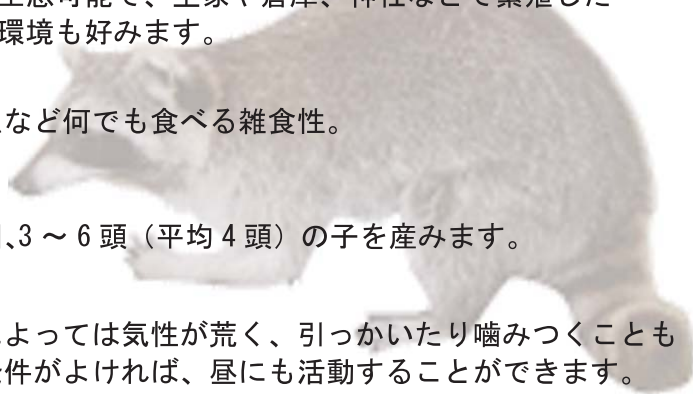
北アメリカ

### 分布

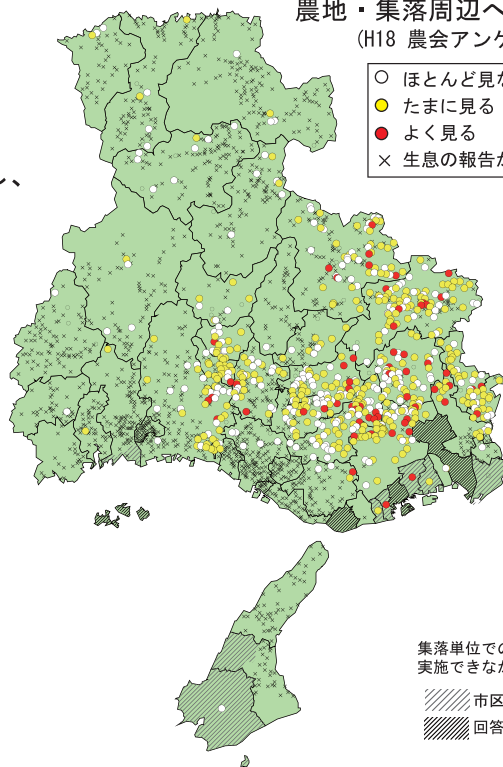
兵庫県では1990年代に神戸市を中心に生息が確認されて以降加速度的に分布を拡げています。現在では県南東部を中心に多くの市町で確認されています。

### 被害

分布拡大にともない、被害報告も増加し、平成18年の農業被害額は果実類を中心に約4300万円にのぼっています。



農地・集落周辺への出没  
(H18 農会アンケートより)



集落単位でのアンケートを実施できなかった市区町

市区町単位で回答  
回答なし



## 様々な被害状況

### 農作物への被害

- 収穫期の畑や田、果樹園などに侵入し、農作物を食べます。
- 被害が多い農作物はトウモロコシ、スイカ、ブドウ、イチゴなどです。
- 器用な食べ方や、指の長い足跡などで、被害を判別できます。



・ **スイカ** 器用に中をくり抜いて食べます。



・ **トウモロコシ** 両手を使い、まわりの皮をむいて、上手に食べます。



### 生活環境への被害

- 春に家の屋根裏などに侵入し、子育てをします。
- 家を糞尿で汚したり、ゴミをあさるなどの衛生上の問題が発生します。

### 生態系への影響

- 日本に生息している在来の生物や生態系に影響を及ぼすことが心配されます。
- ・ アライグマに食べられる小動物  
(小鳥、魚、カエル、カニなど)
- ・ アライグマと食物や生息域が競合する動物  
(タヌキ、キツネ、テンなど)

### 共通感染症の媒介

- 日本になかった感染症を持ち込む可能性があります。
- 「狂犬病」や「アライグマ回虫症」などを媒介するおそれがあります。(日本に野生化したアライグマからは確認されていませんが、注意が必要です。)

#### 注意

- ❗ アライグマには絶対に素手でふれないようにしましょう。
- ❗ 糞尿の処理は慎重に！マスクやゴム手袋などを着用しましょう。





## 他の動物との見分け方

動物によって防除の方法が変わってきます。効果的な対策をとるためにも、アライグマと他の動物を見分ける必要があります。

### アライグマ

食肉目  
アライグマ科

体重：6～10kg 体長：40～60cm

目の周りが黒く、白い眉があるように見えます。尾のしま模様は特徴的で、他の動物と見分けるポイントになります。

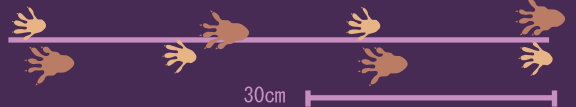
指が長く器用に物をつかむことができます。足跡にもその特徴が表れ、5本の指のあとは人の手形のようにも見えます。

足の裏



尾は黒色と茶褐色の縞模様。

足あと



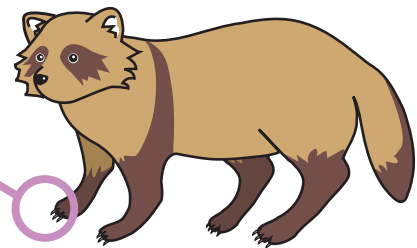
### 間違いやすい動物

タヌキやアナグマは里山などに、住む日本の代表的な哺乳類です。

#### タヌキ

食肉目  
イヌ科  
体重：4～8kg

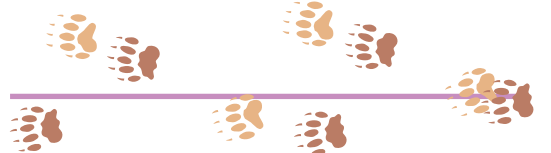
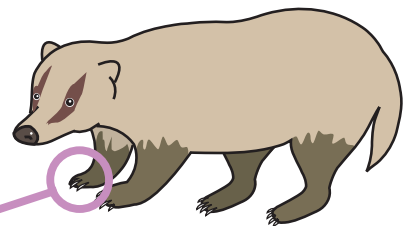
目の周りは黒く、アライグマと間違いやすいですが、全体的に茶色味が強いことと、尾に模様がないことで区別できます。



#### アナグマ

食肉目  
イタチ科  
体重：5～14kg

穴を掘って生活するのに適した体をしています。太くて短い足に長い爪が特徴的です。



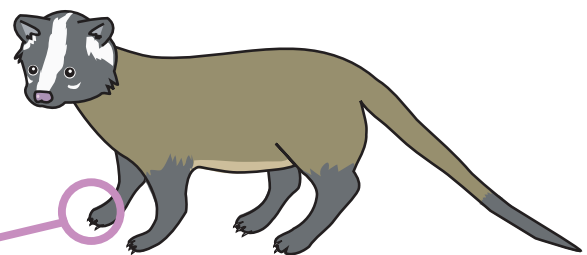
#### ハクビシン

食肉目  
ジャコウネコ科  
体重：3～5kg

従来日本には生息していなかったと考えられています。現在、兵庫県の生息情報は少なく、定着しているかどうか不明です。

鼻筋に入った白い模様はとても目立ちます。また、細長い尾が特徴的です。

木登りが得意で、果実を好んで食べます。





# 被害対策

被害対策の基本は、集落や地域全体を野生動物にとって居心地が悪く、エサの少ない場所にする事です。



## 餌付けの禁止 誘引物の除去

### 餌付けしない

アライグマに限らず、野生動物に餌を与えることはやめましょう。

繰り返し出てくるようになり、被害が増えます。繁殖率も上がり、生息範囲を広げることにもつながります。

### 無意識の餌付け

生ゴミや作物などを放置しておくと、野生動物を誘引し、餌付けと同じことになります。

撤去できる物は取り除き、撤去できない物は防護するようにしましょう。



## 民家侵入防止

### 侵入させない

ベランダの下、屋根裏、物置などへ侵入されないように物理的に遮断しましょう。こぶし大のすき間からでも侵入します。

### 追い出す

侵入された場合は、侵入口の逆側から害虫駆除剤を焚きつけ、煙で追い出します。その後、入口を遮断しましょう。



屋根の上を移動する親子のアライグマ  
※屋根裏で出産・子育てをすることがあります。

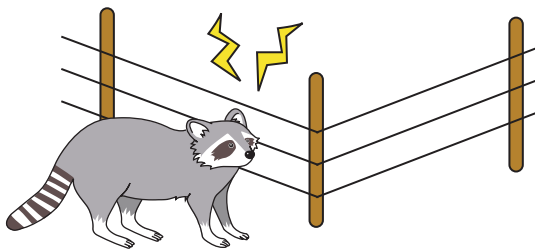


## 防護柵

### 電気柵が効果的

通常の柵ならよじ登ることができるので、電気柵による防除が有効です。

地面からの高さ 10 ~ 40cm をカバーする必要があります。



## 入れない 捨てない 拡げない

許可なく飼うことも、放すことも、生きたまま移動させることも、外来生物法(H17.6月1日施行)で禁止されています。これ以上の侵入、拡大を防ぎましょう。



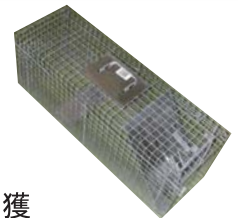
## 捕獲

捕獲して個体数を減らす必要があります。

比較的容易に箱わなで捕獲できます。

※捕獲には「捕獲許可」が必要です。

鳥獣保護法に基づく有害鳥獣捕獲と、外来生物法に基づいた捕獲が出来ます。詳細は、市役所・町役場にお問い合わせ下さい。



# 兵庫県 森林動物研究センター

Wildlife Management Research Center, Hyogo

〒669-3842 丹波市青垣町沢野940  
TEL : 0795-80-5500 FAX : 0795-80-5506 HP : <http://www.wmi-hyogo.jp/>



森林動物研究センターでは、アライグマの生態や行動、効果的な捕獲や防除手法の研究開発を進めています。

兵庫県森林動物研究センター

兵庫ワイルドライフモノグラフ 1号

**兵庫県におけるアライグマの現状**

2009年3月31日 印刷

2009年3月31日 発行

編集・発行 兵庫県森林動物研究センター

〒669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

印刷 アイシー印刷株式会社

# 兵庫県におけるアライグマの現状

兵庫県森林動物研究センター 兵庫ワイルドライフモノグラフ 1号



〒669-3842 丹波市青垣町沢野 940  
TEL 0795-80-5500 FAX 0795-80-5506  
940 Sawano, Aogaki, Tanba, Hyogo, Japan 669-3842

Wildlife Management Research Center, Hyogo  
Wildlife Monograph of Hyogo, No.1

Distribution and management status of racoons in Hyogo Prefecture